

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・整備事業

コード	名称	
事業名	2031	川西大山田線道路舗装事業
基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する

担当部課名	伊賀産業建設課
作成者氏名	高島幸生
連絡先	45-9119

事業の計画・内容

整備目的	主要な幹線道路であり、重車両交通が増加していることから、搬送路としての機能強化並びに生活道路としての安全確保を図る。	整備内容	1 整備面積等	工事延長L=1950.0m W=6.5m
			2 規模・構造	舗装改修
			3 総事業費(千円)	100,000

投入資源

		H18	H19	H20	
①投入人員	正規職員 (人)	0.8	0.7	0.5	
	人件費合計(A)	5,760	5,040	3,600	
	事業費(B)	46,000	30,000	24,000	
②支出内訳(千円)	委託料	4,942			
	工事費	39,501	28,987	23,190	
	その他	1,557	1,013	810	
	合計(A+B)	51,760	35,040	27,600	
③財源内訳(千円)	特定財源	国県支出金	25,300	16,500	13,200
		地方債	19,665	12,825	10,260
		受益者負担			
		その他特財			
	一般財源	6,795	5,715	4,140	
上記①～③に関する特記事項					

根拠法令・要綱等	道路法
関連事業	

事業年度	開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 20 年度
------	------	----------	------	----------

事業計画(※同内容の資料がある場合、添付でも可)

区分	年 度				
	H18	H19	H20	H21	H22
委託費	100%				
舗装工事費	30%	69%	100%		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
舗装改良延長(m)	舗装改修により路面の凹凸や窪みが解消されることから、通行時の振動や騒音が減少する。	平成 20 年度 1950.0m

評価	必要性	4	非常に交通量が多いため、路面が荒れ車両の通行による騒音や振動により近隣住民に不安を抱かせている現状であり、民生安定を図るためにも舗装改修を行う必要がある。
	有効性	4	舗装改修の実施により、走行性の向上が得られ、搬送路としての機能も強化される。
	効率性	3	交通量の増加による舗装路面の傷みは、重車両の増加により必然的に発生するため、今後も事業費の確保が不可欠である。

総合評価	A
------	---